

平成25年度 第1回箕郷地域審議会における質疑一覧

[平成25年6月3日開催]

1 箕郷地域の事業推進状況に係る質疑

内容区分	No	質疑	回答
箕輪城跡保存整備事業について	1	<p>大型バスが入れるような駐車場があれば、もっと多くの人が来てくれるのではないか。</p> <p>鉄筋3階建てくらいで屋上から周りが見られるような施設ができれば、より多くの見物客が来ると思う。高崎を見渡せる場所としては観音山などもあるが、別の方向から高崎市を見られるのもよいと思う。高崎が一望できるような展望台を造ってほしい。</p>	<p>平成23年度から整備工事に着手し、堀の杉の伐採やバイオトイレ新設など環境整備を中心に行っている状況である。今後、来場者の状況を踏まえながら駐車場の整備も検討したい。</p> <p>本丸辺りに展望台を建設したらどうかとの提案については、箕輪城跡は国指定史跡で厳しい制限があり元々あった建造物を復元するにも文化庁の検討委員会の審査に諮って進めていくことになる。そのような中で、史跡地内に3階建ての展望台を建設することはかなり難しいと思われる。環境整備で杉の伐採などを進めた結果、周りの景観が見られるように改善されてきているので、ご理解をいただきたい。</p>
	2	<p>先進地を見ると、ほとんどの所に資料館がある。資料館があれば説明がなくても昔のことや内容が理解でき、見物客が増えると思う。ぜひ整備を検討していただきたい。</p>	<p>現在は環境整備を中心に事業を進めているが、資料館などの施設の設置は将来的課題として認識している。整備事業が進んだ段階で検討したい。</p>

内容区分	No	質疑	回答
箕輪城跡保存整備事業について	3	<p>この事業は、箕郷地域の一大事業と認識している。国の指定史跡の認定を受けて平成6年から取り組み、平成23年度から本格的な整備事業が開始したということだが、箕輪城跡は歴史的な遺産として後世に引き継いでいかなければならないと思う。</p> <p>整備事業の完了はいつごろになるのか。</p>	<p>整備事業は国の補助事業として進めているため、事業の進捗は国の財政事情に左右される部分もある。昨年度は東日本大震災の影響でかなり補助金が減額されるなど、将来的な予算については想定できない部分もあるため整備事業が何年に完成するとは現段階では申し上げられない。いずれにしても長期的な事業になることは、ご理解いただきたい。</p>
	4	<p>例えば30年先となると、改めてその段階で整備事業を始めなければならないのではないかと。要するに、この整備事業を一日でも早く完了させて欲しい。</p> <p>整備後の箕輪城跡を憩いの場、また、史跡公園であると同時の観光地として位置付け、年間を通じて見学に来てもらえるようにいろいろな企画なども考えていかなければならないと思うが、そこも含めての検討を要するのではないかと。</p> <p>先ほども委員から指摘があったが、やはり搦手口の駐車場は狭い。更に整備してより多くのバスや自動車が駐車できる土地の確保、仮設でないトイレの設置などが必要と思う。駐車場の整備を併せて要望する。【要望】</p>	<p>整備が進めば見学者に対する企画なども必要になると考える。文化財保護課だけではなく、箕郷支所の地域振興課や産業課と連携していく必要がある。</p> <p>駐車場及びトイレの整備についても、今後検討していきたい。</p>

## 2 その他の質疑

内容区分	No	質疑	回答
道路・河川の愛護運動の草刈機の借り上げについて	1	<p>例年各町内会で「春・秋の道路・河川の愛護運動」が実施され、住民総出で雑草の除去や木々の小枝の伐採などを行っている。</p> <p>箕郷地域は榛名山麓に位置し、山間部が多い。そこで、作業を効率的に短時間で行うために一般家庭から草刈機を借り上げている。借り上げた草刈機は、1町内会につきガソリン代を含めて1台あたり500円、上限7台までの補助を受けてきた。しかし、今年度から1町内会で上限4台までと大幅に削減された。山間部の道路清掃に草刈機は必要不可欠である。各地域の地理的特殊性を考慮した財政運営をお願いしたい。【要望】</p>	<p>毎年「春・秋の道路・河川の愛護運動」には各地域の皆様にご協力をいただき、ありがとうございます。</p> <p>要望は関係課と協議し、結果を回答する。</p>
「花いっぱい運動」の助成について	1	<p>箕郷地域では、今日まで町独自の事業として道路脇への「花いっぱい運動」を実施してきた。この運動は、地域の景観整備を住民自らの手で実施することにより、花を育てることの優しさや自然の尊さを知り、自然を守ることを通して美しい町づくりを行うこと、併せて各町内会のボランティア団体の交流を深めること、更には雑草等がはびこるのを防止することなど、多様な長所を持っている。しかし、財政の削減という理由から、23年度の助成金が20万円であったのが、24年度は15万円、更に25年度は10</p>	<p>「花いっぱい運動」の助成は、以前は種の植え込んでいるものをポット植えにし、管理して移植するといった手間も含んで計算されていたが、現在は、マリーゴールドの種子の配布ということで、若干減額させていただいている。</p> <p>しかし、「花いっぱい運動」は、地域に根付いた事業であり、箕郷地域の特色として事業を続けたいので、ぜひ今後ご助力をお願いしたい。</p> <p>今後、予算の時期に本庁担当課と協議して調整させていただきたい。</p>

内容区分	No	質疑	回答
「花いっぱい運動」の助成について		<p>万円と、実に年々25%以上も削減されている。山間部である当地域の地理的条件なども考慮し、今後もこの運動を継続するため、23年度と同額の助成金をお願いしたい。</p> <p><b>【要望】</b></p>	<p>予算ということなので来年にならないと結果は出ないが、そういう対応をさせていただくことで、ご理解をいただきたい。</p>